

停電発生時の行動を確認しましょう

台風や地震などの災害で、送電線や発電設備が故障をすると停電が発生し、復旧までかなりの時間を要する場合があります。関東地方では、今年の台風15号で、最長で2週間停電が続きました。また、停電は断水や火災といったさらなる被害を引き起こす可能性もありますので、停電発生時の行動を一度確認しておきましょう。スマートフォンは、災害時の情報収集や連絡の手段として重要です。停電

の復旧まで省電力モードにし、バッテリーを極力消費させないようにしましょう。事前にモバイルバッテリーや乾電池も確保しておくことで安心です。

復旧後、電気器具を再使用する際は、ガス漏れしていないか、配線器具が水に濡れていないか、注意しましょう。また、電化製品のコンセントが抜けていることを確認してからブレーカーを上げるなど、落ち着いて行動しましょう。

停電発生時の行動



近所の様子を見て、
停電範囲を確認する

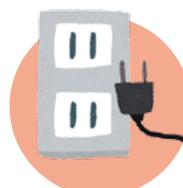


避難時は
ブレーカーを落とす

ヘッドライト
がおすすめ!



懐中電灯など、
明かりを確保する



電化製品の
コンセントを抜く



水を貯めておく

その後の
断水を想定!

スマートフォン用アプリ 停電情報お知らせサービス

停電が発生・復旧した場合、事前に登録した地域・契約地点の停電情報を、プッシュ通知でお知らせします。

また、電気に関してチャットで相談する機能や、災害発生時には周辺の避難施設の検索や、ルート検索ができる防災マップも搭載しています。



問い合わせ 中部電力パワーグリッド(☎0120-985-232) [HP](#) 停電情報お知らせサービス

津市避難所運営マニュアル策定の手引きを7月に改訂しました

「津市避難所運営マニュアル策定の手引き」は、災害発生時に避難所を運営する際の基本的な事項をまとめたもので、今回の改訂では、新たに避難所における新型コロナウイルス感染症感染防止対策を追加しました。

近年の大規模災害では、行政だけで避難所の運営を行うことが難しくなってきました。混乱なく避難所の運営が行えるように、地域の自主防災組織などを中心として、避難者自らによる自主的な避難所運営体制を、あらかじめ確立しておくことが重要となります。

この手引きを参考にして、地域の皆さんや施設管

理者、行政の三者が相互に協力し、地域の実情に応じたマニュアルを作成するなど、円滑な避難所運営ができる体制づくりを行いましょ。



平成19年新潟中越沖地震の避難所の様子

出典：財団法人消防科学総合センター